

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
佐野学 II Sanogaku II		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(なし)	ボランティアや地域貢献に関心を有していること。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
佐野学 I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
茶道				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
川副令	講義棟2階	初回授業で発表する		授業中に指示します
授業の概要				
<p>「佐野を学ぶ、佐野を楽しむ」をテーマにした授業です。オムニバス講義を通じて佐野の歴史や文化、産業や企業、街づくり等について学びます。本学文化祭でのポスター展示、佐野学検定クイズ等の企画にグループで取り組みます。また若林鋳造所を訪れて、天命鋳物作製を体験します。佐野日本大学短期大学が主催する佐野学市民講座、佐野学検定クイズ等と連動した授業です。</p>				
授業の目標				
<p>「地方消滅」の危機が叫ばれる昨今、各自治体はそれぞれ地域の歴史や伝統文化を生かした街づくりに力を入れており、企業も、産官連携での街づくり活動に貢献できる人材を重視するようになってきている。受講生は、このような状況を意識し、本学学生の立場を活かした地域貢献・地方創成活動に積極的に取り組むことができるようになる。佐野市の街づくりの基盤と課題について学び、具体的な体験を基に自分なりの意見を述べるようになる。</p>				
授業の方法				
<p>佐野市の歴史や伝統、街づくりの現状について、オムニバス形式で講義する。地域貢献活動の一環として、本学学園祭において佐野の魅力を伝えるポスター展示、佐野学検定クイズ等の企画にグループで取り組む。また佐野市の伝統文化である天命鋳物の作製を体験する。</p>				
学習の成果（学習成果）				
<p>本学学生の立場を活かした地域貢献・地方創成活動に積極的に取り組むことができる。佐野市の街づくりについて、具体的体験を基に自分なりの意見を述べるができる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（佐野学とは何か、授業計画、成績評価等についての説明）、グループ分け、佐野学展示企画の役割分担			
第2回目	佐野学市民講座に学ぶ佐野の歴史と文化			
第3回目	グループ発表 佐野学クイズ			
第4回目	佐野学展示企画の準備			
第5回目	佐野学展示企画への参加			
第6回目	天命鋳物の歴史、天命鋳物作製体験（1）、学外（若林鋳造所）、外部講師依頼予定 ※11月10日（土）			

第7回目	天命鋳物作製体験（2）、学外（同上）、外部講師依頼予定 ※11月10日（土）	
第8回目	天命鋳物作製体験（3）、学外（同上）、外部講師依頼予定 ※11月10日（土）	
第9回目	天命鋳物作製体験（4）、学外（同上）、外部講師依頼予定 ※11月10日（土）	
第10回目	個人発表 「天命鋳物作製を体験して」	
第11回目	佐野市における街づくりの取り組みと課題、外部講師招聘予定	
第12回目	「佐野ブランド」について、外部講師招聘予定	
第13回目	佐野ブランド企業訪問、学外	
第14回目	発表 「佐野ブランド体験記」	
第15回目	総括	
事前・事後学習	事前学習：予習資料に目を通すこと。事後学習：ミニレポート等の課題をこなすこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	授業出席状況（10%）のほか、佐野学展示企画への貢献（20%）、天命鋳物作成体験への取り組み（20%）等を総合的に評価する。
レポート	20%	天命鋳物作製体験に関する報告感想に加えて、「佐野ブランド」の史跡や名所を訪問する、食品や料理を食べてみるなどした体験を要領よく報告し、有意義な感想を述べられているかを評価する（各10%）。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	30%	グループで佐野学クイズの問題と解答をパワーポイントで作成して、発表する。問題と解答の適切さ、独自性を評価する（10%）。天命鋳物作製体験、佐野ブランド体験記についても報告の機会を設ける（各10%）。
その他		
教科書と参考図書		
教科書は使用しない。参考書は初回講義で説明する。		
履修上の留意点・ルール		
グループ活動に積極的に参加すること。		